

主催：立教大学法学部

共催：「国際体制変動のジェンダー・ダイナミクス」（日本学術振興会科学研究費補助金
2008-2010 年度）

国際報道の現場から

フリーランス・ジャーナリズムの危機

|| 日時：2010年10月21日（木）18. 30－21:00

|| 場所：立教大学（池袋キャンパス、 8号館：8202教室）

司会： 竹中千春（立教大学）

報告者：野中章弘（アジアプレス代表、立教大学教授）

小倉清子（在ネパール・ジャーナリスト）

討論者：竹内幸史（朝日新聞元ニューデリー支局長）

グローバリゼーション時代にますます重要性を増す国際報道。その一角をフリーランス・ジャーナリストとして担ってきたお二人に、これまでのご自身の歩みについて、じっくりお話を伺います。



（ビデオ撮影をする野中章弘さん）



（インタビューする小倉清子さん）

フリーランスは国益や国家と距離を置いて戦争を見ていくことが原則です。つまり自立していなければいけません。何故なら戦争は国家が起こすもので、国家は戦争を起こす時、常にマス・メディアを利用しようとします。それに対して抵抗する力をメディアは持たなければいけないし、ジャーナリストはそういう力をつけていかなければいけない。

（野中章弘さん、2004年6月18日「自己責任論は筋違いですね」、アジアプレス HP より）

お問い合わせ先： 立教大学法学部竹中千春研究室

電話： 03-3985-2933

E-mail : asiawomenrikkyo@gmail.com